



# User Manual Nebula Capsule 3 Laser

目次

安全にご使用いただくために パッケージ内容 各部分の名称 1.プロジェクター 2. リモコン 3. LED インジケーター はじめに 1. リモコンのセットアップ 2. プロジェクターの設置 3. プロジェクターの充電 4. 電源のオン / オフ 5. オートフォーカスと自動台形補正 6. セットアップ Nebula Connect アプリ 設定 1. Wi-Fi ネッ<u>トワーク</u> 2.プロジェクター 3. アプリ 4. デバイス設定 5. その他 製品の使用方法 1. アプリの選択 4. HDMI 再生機器から再生する 5. USB ドライブから再生する 6. 外部オーディオ機器で再生する 7. Bluetooth スピーカーモード ファームウェアの更新 製品の仕様 トラブルシューティング 注意 商標 保証

## 安全にご使用いただくために

本製品を使用する前に、本取扱説明書を全てお読みください。本取扱 説明書で説明されていない変更や設定を行わないでください。本取扱 説明書の指示に従わなかったことが原因で起こった怪我やデータの損 失、破損は保証の対象外となります。

#### 設置について

- 火災や感電の危険を避けるため、本製品を雨や湿気にさらさない でください。 花瓶など、液体の入ったものを本製品の上に置かな いでください。
- 本製品をテーブルクロスやカーペットなどの上で使用しないでく ださい。火災が発生する危険があります。
- 本製品をほこりや汚れが付きやすい場所や、強い磁場を発生する 機器の近くに置かないでください。
- 過熱を防ぐため、本製品の換気を妨げたり換気口をふさいだりし ないでください。
- 本製品を密閉された場所に置かないでください。換気のため、本 製品の周りには常に十分なスペースを確保してください。
- 本製品の上に重いものや鋭利なものを置かないでください。

#### 使用環境について

- 本製品は 5°C ~ 25°C の環境で使用することを推奨します。
- 本製品は通気性の良い環境でご使用ください。
- 極端に高温または低温の環境で本製品を使用しないでください。 強い日差しの下や水気の多い場所で本製品を使用しないでください。

#### 使用時の注意事項

- 怪我や物的損害を避けるために、本取扱説明書に記載された以外 の方法で本製品を使用しないでください。
- ・聴覚の損傷を避けるために、大音量で長時間聴かないでください。
  音量は適切なレベルに設定してください。

- 本製品を長時間使用すると、表面が熱くなることがあります。表面が熱くなった場合には電源をオフにし、プラグを抜いてください。表面の温度が下がってから、ご使用を再開してください。
- 本製品のお取り扱いには常に注意を払い、レンズに触れないでく ださい。
- 本製品を、大人による監視なしにお子様だけで使用することがないようにしてください。
- 内部の部品が損傷する恐れがあるため、激しい振動を避けてください。
- 必ず同梱のACアダプタのみを使用してください。それ以外のア ダプタを使用したことによる故障や不具合は、保証の対象外とな る場合があります。
- 本製品の使用者は、本製品が使用される国・地域の法令を遵守し、 職業倫理を守り、安全義務に留意するものとし、本製品の違法な 目的での使用を固く禁じられています。当社は、いかなる場合に おいても、違反者の法的責任について一切の責任を負いません。

#### 充電について

- 同梱の AC アダプタは、屋内でのみご使用ください。
- AC アダプタは本製品の近くに設置し、手の届きやすい状態にして ください。
- ・本製品の充電には、USB 2.0以上の USB ケーブルをご使用ください。
- 本製品の充電は、周辺温度が 5°C ~ 25°C の通気性の良い環境で 行ってください。
- 本製品は定期的に充電してください。内蔵バッテリーが完全に放 電した状態で保管しないでください。

#### リモコンの電池について

- リモコンに付属している乾電池(単4電池2本)を誤って飲み込まないよう、リモコンは小さいお子様の手が届かない場所においてください。万が一飲み込んでしまった場合は、直ちに医師に相談してください。
- 使い切った電池を、長期間本体に入れたままにしないでください。
- ・リモコンに、誤ったタイプのバッテリーを挿入しないでください。

故障の原因となることがあります。

- 乾電池を交換する際は、プラスとマイナスの向きを正しくセット してください。向きを間違えると思わぬ事故につながる恐れがあ ります。
- 乾電池を落下させたり、傷つけたりして強い衝撃を与えないでく ださい。電池が漏液、発熱、破裂する恐れがあります。
- ・乾電池を火中へ投入したり、充電したりしないでください。破裂 する恐れがあります。
- ・ 使用済み乾電池は、各自治体の指定の方法で処分してください。

#### 警告

- お客様ご自身で内蔵バッテリーの交換はしないでください。誤った種類のバッテリーと交換すると安全装置が作動しなくなり、思わぬ事故につながる可能性があります。
- 本製品および内蔵バッテリーを火中や高温のオーブンに投入したり、機械的に押し潰したりしないでください。爆発する恐れがあります。
- 本製品や内蔵バッテリーを非常に高温の環境や極端に気圧の低い 環境に放置すると、爆発または引火性の液体やガスが発生する恐 れがあります。
- ・ 感電防止のため、本製品を分解しないでください。

#### お手入れについて

- 柔らかく、糸くずの出ない布を使用してください。液体、気体、 可燃性の洗浄剤(スプレー、研磨剤、アルコールなど)を使用しな いでください。
- レンズのコーティング材の損傷を防ぐため、液体洗浄剤でレンズ を洗浄しないでください。
- 表面を優しく拭いてください。表面に傷を付けないように注意してください。
- レンズのクリーニングには、レンズクリーニングペーパーを使用してください。

#### 修理について

- 本製品をご自身で修理しないでください。
- 修理が不適切な場合、怪我をしたり、本製品が損傷したりする恐れがあります。
- 本製品に不具合が生じた場合は、ご自身もしくは第三者による修 理を行わず、カスタマーサポートまでお問い合わせください。

#### レーザーに関する注意事項

- 動作時や投影中は本体のレンズを覗き込まないでください。本体 が発するレーザーは、皮膚や角膜の火傷の原因となる恐れがあり ます。
- 修理を行う者は、本製品のレーザーの危険性をよく理解し、安全 に留意して修理を行う必要があります。
- 本製品に不具合が生じた場合は、ご自身もしくは第三者による修 理を行わず、カスタマーサポートまでお問い合わせください。
- 本製品の筐体を開けないでください。
- 本製品の筐体が破損した場合は、使用を中止してください。
- 本製品にはレーザーが入っています。本体が発するレーザーは、 皮膚や角膜の火傷の原因となる恐れがあります。

#### 本機のレーザーに関して

|--|

- RG1 IEC 62471-5:2015
- 本製品のレーザーセンサーは、IEC 60825-1:2014のクラス1およびIEC 62471-5:2015のリスクグループ1の規格を満たしています。





- Nebula Capsule 3
  AC アダプタ
  充電ケーブル
  リモコン
  単4形乾電池 (x2) Nebula Capsule 3 Laser
- 6 クイックスタートガイド

## 各部分の名称

### 1. プロジェクター

#### 正面図



#### 1レンズ

2オートフォーカスおよび自動台形補正用センサー

### 背面図



- 1 スピーカー
- 2 AUX 出力ソケット
  - AUX ケーブル(別売り)を使って、ヘッドホンやスピーカー などの外部オーディオ出力機器を接続します。
- 3 赤外線レシーバー
- 4 モード切り替えボタン
  - このボタンを押すと、Bluetooth スピーカーモードとプロジェクターモードが切り替わります。
- 5 電源ボタン
  - •3秒間長押しすると、電源のオン/オフ/スタンバイが切り 替わります。
  - 1回押すと、プロジェクターが起動します。プロジェクター モードの時に押すと、スタンバイモードに入ります。
- 6 USB-C ポート
  - ・ 付属の AC アダプタと充電ケーブルで電源に接続します。
  - USB ドライブに接続します。
- 🚺 HDMIポート
  - HDMI 出力経由で再生機器に接続します。

#### 上面図





## サイズ

167.5 (H)  $\times$  83.0 (D) mm



### 2. リモコン



1 オートフォーカス 2 ナビゲーションボタン 8 戻るボタン 4 電源のオン / オフ / スタンバイの 切り替え 5 Google アシスタントの起動 6 決定/一時停止/再開 ⑦ その他のオプションの表示 8 ホームボタン 音量アップ / ダウン 9

## 3. LED インジケーター

ボタン	LED インジケー ター	状態
٢	青色に点灯	電源がオン
	消灯	電源がオフ
	赤点灯	充電中
	オレンジ点灯	待機モード
	赤点灯	待機モードで充電中
	緑色に点灯	満充電
	赤色で点滅	バッテリー残量が低下
	青色で点滅	ペアリング準備完了 / ペアリング 中 / 接続解除 (Bluetooth スピー カーモード )
	青色に点灯	Bluetooth で接続済み (Bluetooth スピーカーモード )

## はじめに

#### 1. リモコンのセットアップ

- ①背面の電池カバーを開けます。
- ② 単4形乾電池2本をプラス(+)とマイナス(-)が合うように入れ、 カバーを閉じます。
- ③ 初めて使用する場合は、画面の指示に従ってリモコンとプロジェ クターをペアリングします。



- ジーリモコンとプロジェクターの間の距離は 10 m を超えないようにしてください。

### 2. プロジェクターの設置

プロジェクターを、投影面の前の安定した平らな場所に置きます。より綺麗に投影するには、白く平らな壁もしくはスクリーンに投影して ください。





スクリーンのサイズ	投影距離
40 インチ	1.06 m
50 インチ	1.33 m
60 インチ	1.60 m
70 インチ	1.86 m
80 インチ	2.13 m
90 インチ	2.39 m
100 インチ	2.65 m
110 インチ	2.92 m
120 インチ	3.18 m

### 3. プロジェクターの充電

初めてご使用になる前に、付属の AC アダプタを使って満充電してください。



#### 4. 電源のオン/オフ

プロジェクターの電源ボタンを3秒間押しすると、電源のオン/オフ/ スタンバイが切り替わります。



### 5. オートフォーカスと自動台形補正



オートフォーカスと自動台形補正を起動させるには、プロジェクター を少し動かすか、リモコンの[ **○**] を押します。

### 6. セットアップ

初めてお使いになる時は、画面の指示に従って以下のセットアップを 行ってください。必要に応じて、プロジェクターの「設定」メニュー で設定をご変更いただけます。

- リモコンとプロジェクターをペアリングする
- 言語を選択する
- Android スマートフォンでテレビを設定する (オプション)
- Wi-Fi に接続する
- Google アカウントでログインする

## Nebula Connect アプリ

本製品を操作する上で、Nebula Connect アプリをスマートフォンに ダウンロードいただくことをお勧めします。



- App Store (iOS 機器の場合) または Google Play (Android 機器の場合) から Nebula Connect アプリをダウンロードします。
- ② お使いのスマートフォンの Bluetooth をオンにします。
- ③ Nebula Connect アプリを開き、接続する機器として [Capsule 3 Laser] > [XXXXXX] を選択します。

画面の指示に従って、接続のセットアップを完了します。

## 設定

初めて本製品の電源をオンにした際は、以下のセットアップおよび必 要に応じて設定の変更を行ってください。

#### 1. Wi-Fi ネットワーク

本製品は、ワイヤレス (Wi-Fi) 接続を使用してインターネットに接続 できます。

ホーム画面で、[♥]>[ネットワークとインターネット]を選択し、
 ●を押します。

② 画面の指示に従って、ネットワーク接続を完了させます。

### 2. プロジェクター

ホーム画面で、[ **ひ**]>[プロジェクター設定]を選択し、 🕞 を押し ます。

[輝度]	環境に応じて明るさを調整します。
	[ <b>画像モード]</b> : プリセットされた画像モードから、 環境や入力ソースに合わせてお好みのモードを選 択できます。
	・ [ <b>標準</b> ]: 暖色と寒色のバランスをとって自然な 色を保ちます。
	•[ムービー]:映画鑑賞に最適な色を再現します。
	•[ゲーム]: ビデオゲームをプレイしやすいように 輝度を高め、応答時間を短くします。
[画像]	•[画像カスタム]: コントラスト、彩度、鮮明度、 色温度、ガンマを手動で設定するか、それらの値 をリセットします。
	[ <b>エキスパート設定</b> ]: 詳細設定をカスタマイズし て、画質を向上させます。
	• [DNR]: 画面のデジタルノイズを低減します。
	•[MPEG NR]: MPEG 圧縮ビデオを再生する時の画像ノイズを除去します。
	• <b>[DI フィルムモード ]</b> : 毎秒 24 フレームでエンコ ードされた高精細画像を作成します。
	• [MEMC]: 元のフレームの間に追加のフレームを 挿入して、スムーズな動きを実現します。
	[ <b>起動時の自動台形補正</b> ]: プロジェクターの電 源を入れた時、自動で台形補正を行います。
[画像補正]	[ 動作後の自動台形補正 ]: プロジェクターを動 かした時、自動で台形補正を行います。
	[ <b>手動台形補正</b> ]: 手動での台形補正を有効にし ます。自動台形補正がオフの時にのみ使用でき ます。

	[ <b>手動台形補正の起動 ]</b> : 台形補正を手動で実行 します。
[ 画像補正 ] 	[ <b>ズーム ]</b> : 投影画像を 50% から 100% の間でズ ームインまたはズームアウトします。
	[ <b>起動時のオートフォーカス</b> ]: プロジェクターの 電源がオンになった時にフォーカスを自動で調整 します。
[フォーカス設定]	[ <b>移動後のオートフォーカス</b> ]: プロジェクターを 移動させた時に、フォーカスを自動で調整します。
	[ <b>手動フォーカス補正 ]</b> : 手動によるフォーカスの 補正を有効にします。
	[ <b>サウンドモード]</b> : プリセットされたサウンド モードから、環境や入力ソースに合わせてお好 みのモードを選択できます。
	•[ <b>ミュージック</b> ]: 音楽を聴くために高音域を強 調します。
	•[ムービー]:映画観賞用にサラウンドサウンド のリスニング体験を作り出します。
	• [ <b>屋外</b> ]: 屋外でオーディオ / ビデオを再生する ために音量を上げます。
	• <b>[ カスタム ]</b> : バランス、低音域、高音域などの オーディオ設定を手動で定義します。
[サウンド]	<b>[ システムサウンド</b> ]: 操作音のオン / オフを切り 替えます。
	[ <b>エキスパート設定</b> ]: 詳細設定をカスタマイズ して、音質を向上させます。
	•[ デジタル出力]: 出力オーディオ形式を選択し ます。
	• <b>[eARC]</b> : 1 本の HDMI ケーブルを介して、TV が オーディオをそのソース機器に逆送信できるよ うにします。
	•[ダウンミックスモード]:マルチチャンネルオ ーディオ信号をミックスダウンします。
	• [ <b>自動音量調節</b> ]: 音量を自動的に制御します。

[Bluetooth スピーカ ーモード ]	Bluetooth スピーカーモードを有効にします。
	[ <b>プロジェクターモード ]</b> : プロジェクターの設 置方法を選択します。
	•[ 自動 ]: プロジェクターが反転しているかどう かを検出し、投影方式を自動で切り替えます。
	• [ 前面 ]: 本製品を投影面の前に置きます。
	•[前面天井]:本製品を投影面の前に天井から逆 さまに吊り下げます。画像が 180°回転します。
	• [ <b>背面 ]</b> : 本製品を投影面の後ろに置きます。
	•[背面天井]: 本製品を投影面の後ろに天井から 逆さまに吊り下げます。画像が 180°回転し、左 右が反転します。
[詳細設定]	[ <b>動作設定]</b> :オートフォーカスと自動台形補正 を起動するためのセンサー感度を調整します。
	[ <b>台形補正</b> ]: 台形補正が正しく機能しない場合 は、プロジェクターを再調整します。
	[スマートソリューション]: プロジェクターが 問題を検出した時の自動アラートのオン/オフ を切り替えます。
	•[投影角度アラート]:最大投影角度に達した 時にアラートを表示します。
	•[ 充電アラート ]: バッテリー残量が不足して いる時にアラートを表示します。
	•[手動台形補正の自動起動]:オートフォーカ スおよび自動台形補正後に手動台形補正を自 動で起動します。

#### 3. アプリ

- ① ホーム画面で、[ 〇 ]> [アプリ]を選択し、 🗆 を押します。
- ② 選択したアプリに対しては、現在のバージョンの確認、アプリの 起動、強制停止、使用されているストレージの確認、データまた はキャッシュの消去、アプリのアンインストール、通知と使用許 可の有効化または無効化を行うことができます。

### 4. デバイス設定

ホーム画面で、[ **◇**]>[デバイス設定]を選択し、 🖸 を押します。

[ デバイス情報 ]	製品情報の確認やシステムの更新、本製品のリセッ ト、本製品の名前変更を行います。
[日付と時刻]	日付と時刻の自動設定を有効 / 無効にします。日 付と時刻を手動で設定するか、タイム ゾーンを 選択するか、時刻形式を設定します。
[タイマー]	オートパワーオフの設定を変更します。
[言語]	画面に表示する言語を選択します。
[キーボード]	キーボードを確認および管理します。
[入力]	HDMI を入力ソースとして選択するか、Consumer Electronic Control (CEC) 設定を変更します。
	CEC を使用すると、HDMI 機器と Android TV が互 いを制御できます。
[電源]	自動スリープ設定を変更したり、現在のディスプ レイをオフにしたり、信号が利用できない時の自 動電源オフの時間を設定したりします。
[ストレージ]	デバイスのストレージを確認します。
[ホーム画面]	ホーム画面でチャンネルやアプリを設定したり、 オープンソースライセンスを確認したりできま す。
[Google アシスタン ト ]	Google アシスタントの設定を変更します。
[Chromecast built- in]	選択すると、Wi-Fi に接続されているすべての Android 機器に通知が表示され、それらの機器が 本製品へのメディアキャストを操作できるように なります。
[スクリーンセーバ ー]	スクリーンセーバーの設定を変更します。
[位置情報]	アプリが位置を推定できるようにします。

[ 使用状況と診断情 報 ]	機器、アプリ、Chromecast built-in からのクラッ シュレポートや使用状況データなどの診断情報を Google に自動的に送信します。
[ アクセシビリテ ィ ]	キャプション設定の変更や、アクセスビリティサ ービスの有効化を行います。
[再起動]	システムの再起動またはキャンセルを行います。

#### 5. その他

ホーム画面で [ 〇]を選択し、その他の設定オプションを表示します。

[アカウントとログイン]	ログインして Android TV を最大限に活用 します。
[リモコンとアクセサリー]	ペアリング対象のアクセサリを検索しま す。

## 製品の使用方法

#### 1. アプリの選択

ワイヤレス (Wi-Fi) 接続を使用すると、オンラインサービスにアクセ スしたり、映画、音楽、写真を表示または再生して楽しんだり、オン ラインでブラウズできます。 Google Play から追加のアプリをダウン ロードできます。

- ① 合を押してホーム画面にアクセスします。
- ②[アプリ]>[他のアプリを入手]を選択します。

### 2. 音声アシスタント

設定後、リモコンの Google アシスタントボタンを使って音声で操作 することができます。

### 3. ワイヤレスキャスティング

iOS、macOS、Android、または Windows 機器から本製品にムービー、 ゲーム、ミュージック、スクリーンをワイヤレスでキャストできます。



#### 3.1 アプリ内コンテンツのキャスト

YouTube や Prime Video など、Chromecast に対応するアプリからコ ンテンツをキャストできます。

- デバイスとプロジェクターを同じワイヤレスネットワークに接続 します。
- ② デバイスでストリーミングアプリを開きます。
- ③ビデオを再生し、ビデオ画面でキャストアイコン
- ④ D2426 を選択して接続します。プロジェクターは、デバイスのビデオ画面をミラーリングします。





#### 3.2 デバイスの画面のキャスト

- デバイスの画面全体をプロジェクターにキャストできます。
- デバイスとプロジェクターを同じワイヤレスネットワークに接続 します。
- ② AirScreen アプリをプロジェクターにインストールします。
- ③ AirScreen アプリを開き、画面の指示に従って操作を完了します。

### 4. HDMI 再生機器から再生する

本製品は、TV ボックス、TV スティック、DVD プレーヤー、セットト ップボックス (STB)、ゲーム機など、さまざまな HDMI 再生機器に接 続することができます。

- HDMI ケーブル (別売り)を使用して、本製品を HDMI 再生機器に 接続します。
- ② 〇 リモコンの設定ボタン(歯車アイコン)を押して[ダッシュボ
- **ード**]に入り、[入力]>[HDMI]を選択します。



- 初めて HDMI 再生機器に接続すると、本製品は HDMI 再生を自動的に開始します。

### 5. USB ドライブから再生する

本製品では、USB 2.0 ドライブに保存されている音楽、ビデオ、画像 を再生 / 投影することができます。また、ドライブに保存されている アプリをインストールすることもできます。

- ① Google Play から File Explorer アプリをダウンロードします。
- ② USB-A ドライブ (USB コンバーター付き) または USB-C ドライブ を USB ポートに挿入します。
- ③ USB ドライブから、再生する音楽、ビデオ、または写真を選択し、 ○を押します。
- ④ ●を押すと再生が停止します。



### 6. 外部オーディオ機器で再生する

本製品は、ヘッドホンやスピーカーなど、外部のオーディオ機器に接 続することもできます。外部のオーディオ機器に接続すると、内蔵ス ピーカーシステムは無効になります。

- ① 3.5 mm オーディオケーブルまたはアダプター (別売り)を使用して、ヘッドホンまたは外部スピーカーを接続します。
- ② ケーブルのもう一方の端を本製品の AUX ポートに接続します。
  - •ヘッドオンまたは外部スピーカーからオーディオが聞こえます。



- ヘッドホンを接続して装着する前に、耳を痛めないように 音量を下げてください。

#### 7. Bluetooth スピーカーモード

本製品は、Bluetooth スピーカーとしてご使用いただくことができます。

 Bluetooth スピーカーモードに切り替えるには、次の2つの方法が あります。

A: プロジェクターの (1)を押します。

- B: ホーム画面で、[ ✿ ]>[Bluetooth スピーカーモード] を選択し、 ○を押します。
- お使いのスマートフォンの Bluetooth を有効にし、Nebula Capsule 3 Laser を選択して接続します。



## ファームウェアの更新

本製品の最新の機能をご利用いただくには、必要に応じてファームウ ェアの更新を行い、システムを最新の状態にしていただくことをお勧 めします。

システムをアップデートするには、[設定]>[デバイス設定]>[バー ジョン情報]>[システムの更新]に移動します。

## 製品の仕様

仕様は予告なく変更されることがあります。

入力	5V == 3A / 9V == 3A / 12V == 3A / 15V == 3A / 20V == 2.25A
消費電力	45W 未満
スタンバイ時消費電力	0.5W 未満

解像度	1920 × 1080
対応解像度	480p (60 Hz)、576p (50 Hz)、720p (30 Hz)、720p (50 Hz)、720p (60 Hz)、1080p (24 Hz)、1080p (30 Hz)、1080p (50 Hz)、 1080p (60 Hz)、4K2K (23,976 Hz)、4K2K (25 Hz)、4K2K (30 Hz)、4K2K (50 Hz)、4K2K (60 Hz)、4096 (23,976 Hz)、4096 (25 Hz)、 4096 (30 Hz)、4096 (50 Hz)、4096 (60 Hz)
コントラスト比	500:1
アスペクト比	16:9
スクリーンのサイズ	40 ~ 120 インチ
スローレシオ	1.2:1
投影距離	$1.06 \sim 3.18  {\rm m}$
光源	レーザー
フォーカス	自動
台形補正	自動
スピーカー出力	8W
騒音レベル	28 dB
Wi-Fi	2.4 GHz/5.0 GHz 802.11 a/b/g/n/ac
通信方式	Bluetooth 5.1
Bluetooth 動作範囲	25 m
USB メモリのファイルシス テム	FAT、FAT32

動作温度ヨーロッパおよび英国の場合、0°C~25°C<br/>その他の国および地域の場合、0°C~35°Cリモコン電池単4形乾電池(x2)

## トラブルシューティング

- ①電源が入らない場合
  - プロジェクターの充電が切れている可能性があります。 プロジェ クターを 15 ~ 30 分間充電し、電源ボタンのライトが点灯するか どうかを確認してください。
- 充電できない場合
  - 充電には、付属の AC アダプタと充電ケーブルを使用します。
  - 付属の AC アダプタと充電ケーブルで充電できない場合は、別の アダプタ (30W 以上)と USB-C 充電ケーブルをお試しください。
- ③ Wi-Fi ネットワークに接続できない場合
  - プロジェクターを Wi-Fi ルーターから 5 m 以内に配置し、再接続 します。
  - ルーターを 2.4 GHz または 5 GHz に設定して、再試行してください。
  - プロジェクターとルーターを再起動して、再試行してください。
  - 別の Wi-Fi ネットワークまたはスマートフォンのホットスポット をお試しください。

④画像がぼやけている場合

- プロジェクターを少し動かすか、リモコンの を押して、オートフォーカスを起動します。
- フォーカスを手動で調整するには、[設定]>[プロジェクター設定]>[フォーカス設定]>[マニュアルフォーカス補正]に移動し、リモコンのくおよび>を使用します。
- 必要に応じて、投影角度や投映方向、プロジェクターの高さを 調整してください。

⑤ 画像が歪む場合

- 次の手順に従って、ファームウェアを最新バージョンに更新してください([設定]>[デバイス設定]>[バージョン情報]>[システムの更新]>[アップデートの確認])。
- 次の手順に従って、手動で台形補正を行ってください([設定]>
  [プロジェクター設定]>[画像補正]>[手動台形補正]をオン>
  [手動台形補正を起動])。
- 必要に応じて、プロジェクターを左右に動かすか、設置角度を 調整してください。

⑥「HDMI 信号なし」と表示される場合

- ・別の HDMI ケーブルを使用してください。
- プロジェクターを別の HDMI 再生機器に接続し、問題が解決する か確認してください。
- HDMI 再生機器を HDMI ケーブルでテレビに接続し、機器やケーブルに不具合がないか確認してください。
- HDMI 再生機器の出力解像度 / 周波数をプロジェクターと同じに なるように調整してください。

⑦ Netflix のインストール方法

 プロジェクターで、Google Play から Nebula Play アプリをインストールします。 Nebula Play アプリを開き、[ヒント]> [Netflix インストール] を選択します。 次に、画面の指示に従って Netflix をインストールします。

⑧ Netflix の操作方法

 お使いのスマートフォンに Nebula Connect アプリをインスト ールし、Capsule 3 Laser に接続します。アプリで「マウスモード」 に切り替えます。マウスモードに切り替えると、1本の指で移動 またはクリック、2本の指でスクロールができるようになります。

⑨ Wi-Fi なしで動画を再生する方法

 動画を FAT32 形式で USB ドライブにダウンロードします。次の 手順については、「USB ドライブから再生する」を参照してく ださい。





本製品は、リサイクルおよび再利用可能な高品質の材料とコンポーネントを使用して、設計および製造されています。
 ✓ 本製品を廃棄する際は、お住まいの自治体のルールに従ってください。



本製品の内蔵バッテリーをお客様ご自身で交換しないでくだ さい。爆発の恐れがあります。 ご使用済みの電池は、お住まいの自治体のルールに従って廃 棄してください。

RG1 IEC 62471-5:2015 IEC 60825-1:2014 クラス 1 および IEC 62471-5:2015 リスクグループ 1 に準拠しています

リモコン: Nebula RC モデル: D0413X



# **Bluetooth**°

Bluetooth<sup>®</sup> のワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. が所有す る登録商標であり、Anker Innovations Limited. は使用許諾の下でこ れらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録 商標は、それぞれの所有者に帰属します。



HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、 米国およびその他の国における HDMI licensing LLC の商標または登録 商標です。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。 Dolby、Dolby Audio、およびダブルD記号は、Dolby Laboratories Licensing Corporation の商標です。

## 保証

#### 最大24ヶ月保証

ご注文日から18ヶ月の間(注)、ご使用いただいている製品に不具 合と思われる事象が生じた場合、当該事象を弊社が不具合であると確 認した後、同一製品との交換、又は修理対応等当社にて適切と判断す る対応をお承り致します。その際の送料は弊社が負担いたします。加 えて、Anker Japan 公式サイト会員を対象に、通常18ヶ月の製品保 証を24ヶ月へ自動延長致します。

(注:予約注文を除く。予約注文に限り、発送日から起算させて頂きます。)

ただし、在庫切れ、販売終了等、弊社の都合で同一製品との交換、又 は修理対応等当社にて適切と判断する対応ができない場合、同等品の 後継品に交換させていただくか、もしくは、システム上で製品代金を 返金させていただく等の対応となる場合がございますので、あらかじ めご了承ください。

なお、お客様過失による不具合の場合は、本保証の対象外とさせてい ただきます。